

	書名等	著・编者情報	出版年	不破先生のコメント
1	魚の胎から生まれた男	高垣眸著；石橋宗吉談	1976	各地の漁業者たちからの聞き書き。彼らが持っている素晴らしい漁業技術だけでなく、自然や資源とどのように向き合っているのかが書かれている
2	東京湾で魚を追う	大野一敏, 大野敏夫著；加藤雅毅編	1986	
3	土佐のかつお一本釣り	西川恵与市著；加藤雅毅編	1989	
4	生きている海幸彦たち：伝統漁法をたずねて	宮原昭夫著	1983	
5	日本海のイカ	足立倫行著	1985	漁船に同乗してのルポルタージュあるいは、漁船乗組員の実体験。漁業現場の迫力が伝わってくる。
6	空飛ぶマグロ	軍司貞則著	1991	
7	まぐろ土佐船	斎藤健次著	2000	
8	こちら東シナ海：以西底曳き網漁に生きる カモメのハーさん航海日誌	浜崎正幸著	1990	
9	山漁：溪流魚と人の自然誌	鈴野藤夫著	1993	山深い源流域で魚を釣って暮らしていた人たちがいた。彼らの生き様や行動から自然の恵みである資源と人間との付き合い方がみえてくる。
10	郡上職漁師のアマゴ釣り	菱田与一・昇著	1989	
11	源流の職漁者	平野惣吉 [ほか] 述；志村俊司編	1987	
12	黒部最後の職漁者	曾根原文平述	1989	
13	露伴の釣り	幸田露伴著；開高健編	1985	釣りならばこの本。幸田露伴は今でも新しく開高健を超える者はない。
14	釣り人語らず	開高, 健	1982	
15	明治前日本漁業技術史	日本学士院日本科学史刊行会編	1982	“漁業”という“技術”を改めて考えさせ、発見がある。
16	日本漁業史	山口和雄著	1947	
17	江戸時代からの釣り	永田一脩著	1987	
18	釣針	直良信夫著	1976	